

2024年12月19日

各位

三洋貿易株式会社
代表取締役社長 新谷正伸

取締役会の実効性評価

三洋貿易は、コーポレート・ガバナンスの実効性の維持・向上を目的とし、毎年、取締役会の実効性評価を実施しています。2024年9月期は外部機関を活用し、匿名性を確保したうえで、自己評価・分析を行いました。実施要領および評価結果の概要は以下の通りです。

(1) 実施要領

1. 評価対象

2024年9月期取締役9名（内、社内取締役5名（内、監査等委員1名））

2. 評価プロセス

評価対象者に外部機関による無記名式のアンケートを実施し、集計結果の報告を踏まえたうえで、令和6年12月の定時取締役会において、分析・議論・評価を実施

3. 評価項目

- ・ 取締役会の構成
- ・ 取締役会の運営
- ・ 取締役会の議論
- ・ 取締役会のモニタリング機能
- ・ 社外取締役（監査等委員含む）のパフォーマンス
- ・ 取締役（監査等委員含む）に対する支援体制
- ・ トレーニング
- ・ 株主（投資家）との対話
- ・ 自身の取組み

(2) 評価結果の概要

当社取締役会の実効性は引続き確保されていることを確認いたしました。

具体的には、取締役会の構成や運営、取締役（監査等委員含む）に対する支援体制において、経営上の重要な意思決定および業務執行の監査・監督を適正に行うための体制が概ね整っていることが評価されたほか、株主（投資家）との対話に

においては、取締役会へのフィードバックが適宜なされていることが評価されました。

一方、長期経営計画「SANYO VISION 2028」の進捗状況に対する取締役会での更なる議論の深化についての意見が出され、取締役会の議論の活性化に向けた課題についても共有いたしました。

今後も、継続的に取締役会の実効性向上に取り組み、中長期的な企業価値向上を追求してまいります。

以上